

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	滋賀県立大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	シガケンリツダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップA・B・E
	学部・研究科等名	学生・就職支援グループ
	担当教職員名・役職	堀江 健二郎・契約職員、北川 雅彦・副参事、橋本 惇・主事
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	71
	受入企業等数	57
	受入企業等名	農林水産省、滋賀県庁、滋賀県立図書館、兵庫県庁、彦根市役所、米原市役所、大津市役所、近江八幡市役所、守山市役所、高島市役所、岐阜市役所、大垣市役所、滋賀県農業技術振興センター、滋賀県畜産技術振興センター、住友電設株式会社、新江州株式会社、化研テック株式会社、綾羽工業株式会社、クラプラステックス株式会社、日本電気硝子株式会社、バンドー化学株式会社、株式会社ダイフク、キャノンマシナリー株式会社、株式会社日立建機ティエラ、株式会社アヤハエンジニアリング、東レ・プレジジョン株式会社、株式会社長府製作所、扶桑工業株式会社、株式会社三社電機製作所、日本電産株式会社、株式会社堀場エステック、株式会社滋賀富士通ソフトウェア、びわ湖放送株式会社、株式会社文溪堂、株式会社たねや、近畿日産株式会社、岐阜信用金庫、京都中央信用金庫、株式会社日吉、JA東びわこ農業協同組合、株式会社はっけん、総合メディカル株式会社、総合メディカル株式会社、公益社団法人滋賀県環境保全協会、里山保全活動団体 遊林会
	インターンシップの分類	8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	製造業においては、現場での製品調整の補助や、図面設計の補助等を行う。そのほか、実際に接客業に従事したり、現場視察やイベントの補助や、営業先への訪問を行う。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している。8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	協定を締結した企業とのインターンシップについて、インターンシップA(5日間以上)は1単位、B(10日間以上)は2単位、C(15日間以上)は3単位を付与している。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている。2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている。3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている。2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生、受入先企業ともにアンケートやレポートをインターンシップ実施後に実施する。また、インターンシップにおける学びや気づきについて、学内で発表を行う。
	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	

要素⑤	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップの日数により、科目名を分けている。5日間以上のインターンシップをインターンシップA、10日間以上をインターンシップB、15日間以上をインターンシップEとしている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入先企業と協議し、インターンシッププログラムを作成している。インターンシップ中においては、学生が毎日提出する実習日誌に対する講評をご記入いただいている。インターンシップ終了後、受入担当者による5段階での評価や、総合評価を記入いただいている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.usp.ac.jp/shushoku/intern/stu_1/#002 http://www.usp.ac.jp/shushoku/intern/stu_2/
問い合わせ先	大学等名	滋賀県立大学
	担当部署名	学生・就職支援グループ
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	0749-28-8296
	メールアドレス	shushoku@office.usp.ac.jp